

全国大会で3年連続金賞受賞

福岡女学院中学校・高等学校バトン部



▲バトンや賞状を手に笑顔の生徒たち

3月10日、同校バトン部の生徒10人が市役所を訪れ、第8回カラーガードマーチングパーカッション全国大会で金賞(第2位)を受賞したことを井上市長に報告しました。

市長は「皆さんが頑張ってきたことは皆さんに返ってきます。これからも頑張ってください」と激励し、市在住で高校1年生の高木さんと倉富さんは「次は日本一を目指します」と抱負を述べました。

地球温暖化対策実行計画

改定計画について市長に答申



▲答申書を掲げる中山会長と市長(左)

3月6日、「第3期春日市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)改定計画」について、市環境審議会が井上市長に答申を行いました。

この計画は、令和12(2030)年までの期間、市域から排出される温室効果ガスの削減目標を設定。達成に向け、市民・事業者・行政のそれぞれが、取り組みを計画的に推進していくことを目的としています。改定計画は市ウェブサイト(1001219)などで公表しています。

フードドライブで集まった食料品などを贈呈

西日本シティ銀行から市社会福祉協議会へ



▲寄贈されたフードボックスを囲んで記念撮影

3月18日、西日本シティ銀行が社会貢献の一環として行っているフードドライブにより集まった食料品など(フードボックス26箱)を、市社会福祉協議会に贈呈し、同協議会の廣田茂忠会長から井上市長に報告しました。

同行取締役常務執行委員の小湊真美さんは、「継続することに意味があるので、これからも取り組みを続けたい」と、今後の意欲を述べました。

ミニ・生命のメッセージ展を開催

飲酒運転はしない、させない、絶対に許さない



▲展示された等身大のパネル

3月11～14日に、福岡都市圏17市町共同の飲酒運転撲滅キャンペーンの一環として、市役所で「ミニ・生命のメッセージ展」を開催しました。

「メッセンジャー」と呼ばれる等身大のパネルには、飲酒運転による交通事故などで命を奪われた人々の写真や名前、遺族のメッセージを掲載。足元には「生きた証」である靴を置いて、命の大切さを訴えました。



防災について楽しく学ぶ

防災フェスティバル開催



▲トランシーバーの使い方の説明を受ける子どもたち

3月23日、県営春日公園で防災フェスティバルが開催されました。消防、警察、自衛隊なども参加し、車両展示や体験コーナーなどが設けられ、多くの親子連れなどが参加しました。

病院のブースでは、災害発生時の医療救護班の派遣などを行う「福岡DMAT」の通信体験を実施。トランシーバーを初めて手にした子どもたちは、スマートフォンとは違う操作方法に興味津々でした。

市社会福祉協議会へ寄付金を贈呈

陸上自衛隊福岡駐屯地曹友会



▲左から曹友会の犬塚さん・福岡会長、市長、廣田会長

3月19日、井上市長の立ち会いの下、陸上自衛隊福岡駐屯地曹友会が市社会福祉協議会に寄付金を贈呈しました。

今年で24回目の取り組みとなり、曹友会の福岡哲也会長は「これからも支援を続けていきたい」と述べ、同協議会の廣田茂忠会長は「寄付金を有効に使わせてもらいます。今後も力を貸してください」と感謝を述べました。

子どもたちの安全を願って

ランドセルカバー贈呈式



▲左から歌野原支部長、扇教育長、園田副支部長

4月4日、春日地区交通安全協会(春日支部)から、ランドセルカバー約1,100枚が贈呈されました。

通学に慣れていない1年生が交通事故に遭わないよう、黄色のカバーでドライバーの注意を促すことを目的に、20年以上続く取り組みです。

今年度はデザインや素材などもリニューアルされ、耐久性も向上。同支部長の歌野原鶴生さんは「安全に楽しく通学してもらいたい」と語りました。

中学生や高校生なども企画から参加

各地区で春祭り開催



▲ステージでビンゴ大会の景品を受け取る子どもたち

3月下旬、市内各地区で春祭り(桜祭り)が開催されました。

宝町地区では、公園を埋めるほどの人で大にぎわい。ステージイベントやくじ引き、飲食の出店など、地域の学生たちが企画・運営に加わり盛り上げました。訪れた小学生は「ビンゴ大会で初めて当たったのがうれしかった。また来たい」と語り、地域の行事を楽しんでいました。